

看護 みやぎ

©宮城県・電プロダクション

CONTENTS

- ② いつでも必要とする方のそばにいる看護職
台風 19 号による被害への看護協会の災害支援状況
- ③ 理事会だより・Nursing now
- ④ 令和元年度 職能理事の抱負
- ⑤ 令和 2 年度 役員・推薦委員立候補・推薦のお願い
安全で質の高い看護提供に向けて !!
- ⑥ キャリアをみかく
認定看護管理者教育課程【ファーストレベル】を終えて
認定看護師を紹介します
- ⑧ 支部だより
- ⑩ 准看護師キャリアアップ支援
「准看護師の研修と懇談会」のご案内
- ⑪ 対象者の個性性を考慮した退院支援ができる看護師
育成研修のご案内
- ⑫ 医療安全情報レポート
わたしのとっておきリフレッシュ方法
- ⑬ 働き続けられるための勤務環境改善研修会
2020 年 WLB 推進ワークショップ参加施設募集
- ⑭ 宮城県ナースセンターからのお知らせ
- ⑮ 令和 2 年度 看護協会継続手続きについて
入会特典のご案内
- ⑯ 2019 年度会員総括表・看護師学校養成所 2 年課程（通
信制）進学者に対する奨学金のご案内・会員特典
編集後記



みちのく湖畔公園



認定看護管理者教育課程 ファーストレベル





いつでも必要とする方のそばにいる看護職

公益社団法人宮城県看護協会 会長 石井 幹子

台風19号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

県内では18か所に避難所が開設され、災害支援ナースが10月16日より大郷町で、18日からは丸森町で、28日からは大崎市鹿島台でも活動しております。頼もしい限りです。派遣して下さった医療機関等施設の皆様にも感謝申し上げます。また、支部の看護管理者ネットワークでの日頃の顔の見える関係が大いに発揮されている状況となっております。通常業務でいっぱいの中を有難いことです。

一日も早く通常の生活に戻れますようにと願っております。

日本看護協会では「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン」として～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～を表明しています。宮城県看護協会でも、全世代型地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいるところです。

その中で、宮城県看護協会として3年に一度開催の、第2回目となりますサードレベルの研修が9月2日に開講し、11月12日に閉講式を迎えます。多様なヘルスニーズをもつ個人・家族・地域住民に対して、より質の高い組織的看護サービスを提供する看護管理者の育成が目的です。第一人者による素晴らしい講義の数々に応え続けた受講者の今後の活動に、大いに期待し当てしております。

ところで、新聞等で取り上げられています看護職員需給推計による看護職不足。そして病床再編。宮城県でも2040年にはほとんどの市町村で人口の30%以上が75歳以上という長寿社会になり、出産数もこれまで以上の減少傾向という推計が示されております。地域医療構想・地域偏在対策・働き方改革は三位一体と聞いていますが、医療職の人材不足問題は少子化の中で最も重要な問題です。宮城県や医師会等の会議に出席させていただく中で、看護職能団体としての位置づけとその重責を実感しております。

さて、この季節、看護協会の入会・継続のご案内をさせていただいております。賠償保険の補償内容の充実もさることながら、いつでも必要とする方のそばには看護職がいることができるように、看護職が誇りと自信をもって仕事をしていけるように、看護協会は活動し存在しています。まだ加入されていない看護職の皆さまにお声がけいただきたくお願いいたします。

末筆になりますが、空気が乾燥しインフルエンザが流行する季節。こまめな水分補給と併せて予防対策を行い、皆さまがお元気で活躍されますよう祈念申し上げます。



台風19号による被害への看護協会の災害支援状況

宮城県との「災害時における本会の協力に関する協定」に基づく災害支援ナース派遣要請があり、所属先の看護管理者様のご協力により、10月16日から大郷町の避難所1か所に、10月18日から丸森町の避難所2か所に、10月28日から大崎市鹿島台の避難所1か所に災害支援ナースを派遣しているところです。

なお、丸森地域は特に長期的な支援が必要であり、県内派遣調整だけでは対応困難なことから、日本看護協会と協議し、近隣県の看護協会（山形県協会・青森県協会）から2チームの派遣協力をいただいております。

災害支援ナースご本人及び所属施設の皆様には、ご多忙の中、ご尽力をいただきまして心より感謝申し上げます。引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

理事会だより

令和元年度 第3回理事会

日時：令和元年 7月20日（土）11時45分～14時21分
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

1. 協議事項

- (1) 宮城県知事への要望事項について

2. 報告事項

- (1) 令和元年度宮城県看護協会重点事項の進捗状況
- (2) 令和元年度事業報告（4月～6月）
- (3) 令和元年度正会員の入会
- (4) 日本看護協会理事会等報告
- (5) 職能理事報告
- (6) 支部理事報告

令和元年度 第4回理事会

日時：令和元年 9月7日（土）10時30分～14時03分
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

1. 協議事項

- (1) 宮城県知事への要望事項について

2. 報告事項

- (1) 令和元年度宮城県看護協会重点事項の進捗状況
- (2) 事業報告（令和元年 7月～8月）
- (3) 令和元年度正会員の入会状況
- (4) 日本看護協会理事会報告・全国法人会報告
- (5) 職能理事報告
- (6) 支部理事報告



看護の力で健康な社会を！

Nursing nowは、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的なキャンペーンです。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、Nursing nowキャンペーン理事が運営しています。ナイチンゲール生誕200年となる2020年末までキャンペーンを展開します。

看護協会は職能団体として、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動します。

メインテーマ「看護の力で健康な社会を！」を掲げ、本会イベントなどさまざまな機会を活用し、国内でのキャンペーンの認知度の向上に努めます。わが国の看護が直面する課題への取り組みを推進し、看護職が一丸となって社会のニーズに応えるため、活動を進めていきます。

看護職が持つ可能性を最大限に活用し、社会が求める役割を果たし、人々の健康な暮らしに貢献できるよう、一人でも多くの方々に本キャンペーンへのご賛同、ご協力とご支援をお願いしています。

令和元年度 職能理事の抱負

保健師の役割発揮に向けて

●保健師職能理事（保健師職能委員会委員長） 松 野 あやえ

保健師職能委員会では、日本看護協会や支部職能委員と連携して活動するとともに、地域の中でその人らしい暮らしを支えていけるよう地域包括ケアの推進に向け、助産師職能、看護師職能との連携を進めています。

地域の健康課題が多様化・複雑化する中、保健師活動のコアである「みる」「つなぐ」「動かす」活動がますます重要になっています。切れ目のない質の高い支援が展開できるよう多職種・多団体等と連携し、保健師本来の役割が発揮できるよう研修企画や情報発信に努めていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。



すこやかな出産、育児環境の支援をともに考える

●助産師職能理事（助産師職能委員会委員長） 佐 藤 広 子

今年度助産師職能委員会では、子どもと子育て世代を対象とした地域包括ケアの推進と安心・安全な出産環境の体制作りに向けた情報発信を計画し活動しています。事業の一部をご紹介しますと、子育てをテーマにしたイベントに、助産師の役割を発信する場として職能委員や現役助産師が参加しています。研修会としては、社会的に大きな問題となっている「虐待」をテーマに、来年2月の開催を企画中です。出産環境の整備に向けては、院内助産や助産師外来に対する理解を深めるため、仙台と県南地域で職能集会を開催しています。さらに、例年行っていた産科看護管理者研修・情報交換会を、今年度は施設の看護管理者の方に集まっただけ、現場における問題を解決するための交流会にしたいと考えております。

今、私たちがするべきことは何かを、一緒に考えていきましょう。



看護を「繋ぐ」ため、病院で働く看護師の役割を考える

●看護師職能理事（看護師職能Ⅰ委員会委員長） 高 橋 裕 子

「病院で働く看護職」の問題を吸い上げ、意見を集約することを目的に活動しているのが、「看護師職能Ⅰ」です。昨年度の活動により、改めてチーム医療の中の看護師の役割について考え、更に、出前職能集会や、保健師との合同会議で、施設や在宅と繋ぐ、看護を繋ぐために、地域・医療・介護・行政と一緒に取り組む必要性を強く感じました。この「繋ぐ」というキーワードを基に、今後、黒川支部、大崎・登米・栗原支部での「出前職能集」看護師職能Ⅱと合同で「医療機関と高齢者施設で働く看護職の相互研修」「保健師職能・助産師職能との合同会議」を行う予定です。是非、病院で働く看護職の皆さん、現場のご意見を聞かせて下さい。よろしくお祈ひいたします。



ケア現場の課題発見とケアの質の向上にむけて

●看護師職能理事（看護師職能Ⅱ委員会委員長） 稲 見 美和子

看護師職能Ⅱは主に「高齢者ケア施設等で働く看護職」のケア現場の課題発見と人材育成を掲げ、平成28年度看護師職能Ⅰより独立し研修の企画運営も行っています。今年度はケア現場で抱えている課題の中より日本看護協会の活動方針にもあります、看護管理者が考えるべき労働者及び療養者のリスク管理について「看護管理者研修」で、また、看護職のスキルアップ研修として「施設における看護」を仙台・県北・県南の福祉施設をお借りし施設見学も兼ね実施を予定しております。地域包括ケアシステム構築にむけた「医療機関と高齢者ケア施設で働く看護職の相互研修」を看護師職能Ⅰと協働企画し、看護職の連携を目的に相互実習を行っています。また、今年度も将来高齢者ケア施設では働いてみたい方対象に「高齢者ケア施設における施設看護入門セミナー」を開催致します。少しずつ看護師職能Ⅱの会員の方が増えてきていますが、まだ会員が少ない現状です。皆さん是非協会の会員になってケアの現場の声を聞かせてください。よろしくお祈ひいたします。



令和2年度 役員、推薦委員 立候補・推薦のお願い

令和2年度改選の役員、推薦委員について、会員の皆様から立候補や推薦の受け付けをいたします。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議の後に、候補者としての推薦を確定させていただきます。

改選役員名と人数

1. 役員	副会長（保健師）	1名
	副会長（看護師）	1名
	専務理事	1名
	常任理事	2名
	職能理事（助産師）	1名
	職能理事（看護師Ⅰ）	1名
	支部理事（岩沼支部）	1名
	支部理事（大崎支部）	1名
	支部理事（登米支部）	1名
	支部理事（仙台北支部）	1名
	支部理事（仙台東支部）	1名
	監事	1名
	保健師	3名
2. 推薦委員	助産師	3名
	看護師	3名

* 推薦基準 *

1. 会員歴5年以上の方
2. 本会の目的達成のための活動に
取り組み、任務を遂行できる方

* 推薦方法 *

推薦なさる方は推薦委員に書面でご連絡ください。

締切日 令和元年12月4日（水）

連絡先

〒980-0871
仙台市青葉区八幡二丁目10-19
公益社団法人宮城県看護協会
推薦委員長 川名 恵子

安全で質の高い看護提供 に向けて!!

宮城県看護協会では、平成28年度より准看護師の研修の機会が欲しい、最新の情報を知りたいという声に応えるため、平成28年度より「准看護師キャリアUP支援事業」として、研修会等を開催し、進学支援等を行っています。

今年度は、さらに准看護師の業務や役割上の課題を把握し、看護師・准看護師とともにお互いの役割を発揮して安全で質の高い看護提供に向けた取り組みを検討しています。

検討を進めるにあたって、法令や規則等、基本的な考えを踏まえて、看護師と准看護師が現場でチームとして業務遂行していくために、2019年2月に作成された「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」を参考にしながら進めています。

研修会を予定しています!!

日時

12月7日（土） 10:00～12:30

テーマ

「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」

講師

日本看護協会担当者

准看護師のステップアップを目指して

● 准看護師職能理事 高城 重之

皆さん初めまして、今年度より准看護師職能理事となりました高城と申します。

准看護師の研修の機会が欲しい、最新の情報を知りたいという声に応えるために、毎年県内5カ所で研修や進学に向けた情報提供を行っています。准看護師の皆様、一緒にステップアップして行きましょう！

また、准看護師の業務や役割上の課題を把握し、看護師・准看護師とともに、お互いの役割を発揮して安全で質の高い看護提供に向けた取り組みを目的に活動しています。

2019年2月より、「看護チームにおける業務のあり方に関するガイドライン」が公表されましたが、現場の現状とガイドラインとの乖離をどう埋めて行くかなどの課題も多くあります。

皆さんのご意見をお聞きしながら活動していきたいと思いますので、宜しくお願い致します。



認定看護管理者教育課程【ファーストレベル】を終えて



今年度の認定看護管理者教育課程ファーストレベルの研修が6月12日（水）から7月26日（金）の間、宮城県看護協会看護研修センターで開催されました。受講生は87名で、職場や職位は様々でした。今年度は認定看護管理者カリキュラム基準が改訂され「新カリキュラム」での研修となりました。ここでは新カリキュラムでの学びや感想をお伝えします。

注目 point

- 地域包括ケアシステムの構築・推進に対応する内容を強化！
- 総時間数が 150 時間→105 時間へ！
- ファーストレベルに「統合演習」新設！

より効果的、
効率的に学べる
ようになりました

ヘルスケアシステム論Ⅰ

地域共生社会、看看連携の重要性を実感しました。

質管理Ⅰ

医療はサービス！
顧客の印象に大きく影響するのは態度！
自分自身を振り返る機会となりました。

組織管理論Ⅰ

管理という言葉には「目標」が隠れていることを学びました。目標管理は「アレもコレも」ではなく、「アレかコレ」！

統合演習Ⅰ

多くの時間を費やし、看護管理で求められる問題解決のプロセスを学びました。
「困る」ことは決して悪いことではなく、「困る」ことから問題解決は始まります！
たくさんのディスカッションを通し、自分自身の視野が広がりました。

人材管理Ⅰ

「多様性」がキーワード。色々な特性を認めて、学習を支援していくことの必要性を学びました。

資源管理Ⅰ

経営資源はヒト・モノ・カネだけではない！
時間・情報・知識・技術も重要な資源と気付きました。



これから受講される方へ

研修では看護を提供する場の垣根を超えたディスカッションができ、多くの発見と学びを得ることができます。また、研修で出会った仲間とのネットワークは宝物です。ぜひ多くの方に、新しい学びの発見を体験してほしいと思います。

編集委員 受講生

東北大学病院：庄島和世・高橋洋美
坂総合病院：車塚美貴
大崎市民病院鹿島台分院：渡邊恵

認定看護師を紹介します

認定看護師



摂食嚥下障害看護認定看護師

仙台市立病院

佐藤 浩美さん

誰もが安全に食べられることを目指して

私は安全に食べられる手段や食べられるようになるための訓練方法などについて、専門的な知識に基づき根拠を学び看護を実践したいと思い、認定看護師を目指しました。

現在は脳神経疾患病棟に配属され、NSTに所属し組織横断的に摂食嚥下障害患者に介入しています。病棟では発症後から「いつでも食べられる口腔環境をめざし」口腔ケアの徹底を、病院全体では「安定した姿勢保持が誤嚥性肺炎防止につながる」を念頭に“ポジショニングで食べる喜びをつたえる（POTT）プログラム”を啓発しています。体験型研修会を通し、患者の立場に立ち、どのようにしたら安楽な食事環境を提供できるかを考え声に出し、共に学び合える環境づくりを行っています。また週1回NSTスタッフとともに嚥下内視鏡検査による嚥下ラウンドを行い、嚥下機能と合致した食形態の検索や安全に食べるための姿勢の確認、間接訓練の提案を行っています。摂食条件遵守のため個別ポスターを作成することで、安全に食べられる機会を得られる患者は増えうれしく思っています。

「その方にとって最善は何か」を常に考えながら、多角的な視点で総合的に判断し、今後もこの気持ちを忘れず携わっていきたいと考えています。

最後に認定教育機関は全国から同じ志を抱いた人と出会う大きな機会になります。自分がどうありたいのか、何をしたいのかを話すことで未来が具体的になるかもしれません。ぜひ挑戦してみてください。



新人研修の様子

認定看護師



糖尿病看護認定看護師

東北労災病院

後藤 愛さん

糖尿病とともにその人らしい生活を送るための支援

私の糖尿病看護との出会いは、看護師1年目に内分泌代謝内科と血液内科の混合病棟に勤務したことがきっかけです。複雑な糖尿病治療、難しい患者さんへの療養指導に最初は糖尿病看護に対して苦手意識を抱いていました。しかし、先輩看護師に誘われ参加した研修で、エンパワーメントや自己効力を高めるアプローチによる患者さんの行動変容を知り、糖尿病看護に興味を持ち始め学びを深めていきたいと思いました。

現在は内科外来に勤務し、フットケア、透析予防、自己注射や血糖測定指導、糖尿病教室などの療養支援を行っています。また当院に勤務している糖尿病療養指導士と協力して、より良い糖尿病看護を目指し勉強会の開催や世界糖尿病デーのイベントの企画などもしています。

糖尿病患者さんの中には家庭や仕事、経済的な事情で通院を自己中断され、再受診した際には合併症が悪化した状態となっていることも少なくありません。患者さんの行動の背景には必ず理由があるため、その方の現在だけでなく、過去、未来の状況を身体・心理・社会的な幅広い視野でみていくことが大切だと感じます。

認定看護師の活動を通して出会った全国各地にいる仲間とのつながりは、大きな財産となりました。このネットワークが更に広がっていければと思います。そして一人でも多くの患者さんがその人らしい生活を送りながら、治療を継続し合併症を予防できるように心に寄り添う看護を目指していきたいと考えます。



フットケアの様子

支部だより

塩釜支部 正しく理解しよう！ 地域包括ケアシステム

塩釜支部会員数	415
保健師 9 助産師 28	
看護師 366 准看護師 12	

塩釜支部では、去る9月17日に看護管理者ネットワーク会議を開催いたしました。

はじめに、石井幹子宮城県看護協会会長をお招きし「生涯にわたりつなぐ看護」というテーマで講話していただきました。人口構造や疾病構造、2025年問題や2040年問題について講話して頂きました。さらに宮城県看護協会運営の訪問看護ステーションの活動報告をして頂きました。

続きまして、2名の方々から、話題提供がありました。

1 題目は、塩釜市西部地区地域包括ケアセンターの看護師、小野桂子さんから「病院と地域の必要な情報共有」と題して、地域包括ケアシステム概要、3事例を通して改めて考えさせられたことについて話題提供がされました。病院と地域の情報共有を早くすることが「鍵」ということでした。

2 題目は、宮城県仙台保健福祉事務所次長（高齢者支援班長）の横田将一さんから「塩釜地区医療・介護連携シートについて」話題提供いただきました。目的は医療と介護の関係者の誰もが、簡便かつ効率的に連携を推進できる仕組み作りを目的に作成されました。医療機関従事者からは「初めて知った」という声が多く、まずは周知徹底が必要だと感じました。

最後に本日の講演・話題提供を踏まえグループワークを行いました。石井会長にはグループワークにも参加いただき、大変有意義な看護管理者ネットワーク会議でした。キーワードは「早めの情報共有」が大切ということで看護管理者ネットワーク会議を終えました。



栗原支部

♪地域との連携そして看看カフェ

栗原支部会員数	389
保健師 22 助産師 7	
看護師 353 准看護師 7	

8月31日（土）「栗原市民まつり」に於いて“まちの保健室”としてブースを設け血圧測定や健康相談を実施いたしました。炎天下にもかかわらず10代から90歳代まで318名の方に立ち寄っていただき、血圧測定や健康相談を通して地域の皆様に寄り添うことができた一日だったと思っております。

また、今年度企画した「地域にいる看護職同志が名前を呼びあえる関係をつくる」を目的に栗原市内看護職連携推進事業として看看カフェを9月10日（火）に実施しました。今回は市内志波姫地区の特別養護老人ホーム千葉福寿園看護師4名の方々とコーヒーとピザを頂きながら、利用者さんの状況、施設での看取りについて、働く環境や職員について等ざくばらんに話して頂きお互い情報交換もできました。

アロママッサージを私達も初めて行いましたが、やる方もやられる方もお互い満足したという感想をいただきました。普段私たちは患者さんや利用者さんの肌に触れることでいろんなことを感じ取っていますが、アロママッサージを通して人の肌に触れる、肌と肌のふれあいがこんなにも心地良く、安心感があることを改めて感じたと話していただきました。仕事が終わってからの開催でしたが、普段お世話になっている施設職員の方との親睦も深まり、今後お互い不安なことや悩み事など気軽に声をかけて頂き語り合える関係でいたいと思いました。会話が弾み和やかに笑いもあり楽しい看看カフェとなりました。



仙 台黒川支部

「看護のひろば 2019」に参加して

仙台黒川支部会員数	1,905
保健師 40 助産師 85	
看護師 1,707 准看護師 73	

令和元年5月11日（土）アエル仙台2階アトリウムにて「看護のひろば2019」が開催されました。晴天の中、私たち仙台黒川支部も6名のスタッフで参加致しました。来場者数は34名と賑やかな雰囲気の中で健康相談を行うことができました。今年は当支部の目玉である「尿漏れの相談・骨盤底筋体操指導」をテーマとし、皮膚・排泄ケア認定看護師の協力のもと、来場の方々に様々なアドバイスを行うことができました。今回、具体的に分かりやすく、PRをするために、テーマを絞った点や相談内容を表記したポスターを椅子に貼る工夫をしました。また、指導内容が分かりやすく記載されたリーフレットを作成し、持ち帰っていただく事で、来場して頂いた方々の日常生活に生かすことができるようにしました。来場した方々からは「病院の診察では看護師とゆっくりお話することができないので、このような場はとても嬉しい」というご意見や、また毎年来場しているという方から声掛けをいただいたり継続することの大切さや意義の大きさを感じました。



血圧測定ブースでは単に測定値を伝えるだけではなく、様々な健康に関する相談も受けることができました。しかし一方では、若い方や急いでいる方々へのPRの難しさも感じられました。全体的には短い時間ではありましたが、来場の方々と充実した触れ合いができたと思います。次回もたくさんの方に興味・関心を持っていただけるテーマの絞り込みやPR方法、ポスターや掲示を工夫したブースの継続をしていきたいです。

石 巻支部

支部活動報告

石巻支部会員数	1,230
保健師 16 助産師 41	
看護師 1,078 准看護師 95	

石巻支部では、5月にまちの保健室を開催しました。例年と同じ場所での開催ということで顔なじみの方もいらっしゃいました。生活習慣病で通院中の方や喫煙を気にかけている方が多く見られました。また、進路相談ブースにも中・高生を持つお母さんと生徒さんにおいて頂きました。

10月には東松島市で開催をする予定です。12月にはスタッフ研修としてアロマセラピー教室を予定しております。

これからも、看護職への理解が深まるように地域との関わりを大切にしながら活動を行なって行きたいと支部役員一同考えております。



仙南支部だより は、次号に掲載します。

この度の台風19号で、特に丸森町の被害が大きく、国保丸森病院は1階が浸水し孤立しました。停電や断水等ライフラインが機能しない中、職員の尽力で2階3階に入院されていた患者さん全員が無事でした。そして、患者さんは地区支部内の病院に転院いたしました。

これは、曽根田支部理事をはじめ、看護管理者の連携のもと、仙南地域の被害状況の情報収集がすすめられた結果でした。





台南支部

「事業報告」看護管理者ネットワーク会議を開催しました

仙台南支部会員数	1,920
保健師 26 助産師 130	
看護師 1,719 准看護師 45	

令和元年度 宮城県看護協会は重点項目として「地域包括ケアの推進」「看護職の働き方改革の推進」「それぞれの分野で働く看護職の役割発揮に向けた看護の質向上」「支部機能と組織化強化」の4つを掲げています。支部機能の充実の取り組みとし、南支部では看護管理者のネットワーク会議を7月と11月の2回企画しました。

看護管理者ネットワーク会議は、1) 仙台南支部管内の「地域包括ケアシステム構築」の一助として、看護管理者・看護師長間での情報交換・交流を通して地域連携の強化を図る 2) 災害時の施設間の協力体制強化のために、看護管理者・看護師長間の顔の見える関係作り 3) 看護職の勤務状況やワークライフバランスなどにおいて管内での情報交換を行い、「看護職が働き続けられる職場環境」の改善の一助とする ことを目的としています。

今回で6回目になる看護管理者ネットワーク会議は、去る7月19日(金) JCHO仙台南病院にて、病院、訪問看護ステーション、介護老人保健施設の15名の方にご参加頂き開催しました。「看護管理者のお悩み共有」「年次有給休暇取得どう対応しますか」をテーマに挙げ、人材育成、年休取得などの実情や個々の思いを話したことで、笑いがおきたり、お互いの立場を理解でき共感することに繋がった会となりました。支部としては、各テーブルに、支部役員が同席したことで、看護管理者の方々の思いを伺う貴重な時間となりました。又、「日頃からお名前は伺っていましたが、初めてお会いできました。参加できてよかったです」などのご意見をいただきました。

今年度2回目は11月を予定しています。多くの方に参加して頂きますよう宜しくお願い致します。



●准看護師キャリアアップ支援

「准看護師の研修と懇談会」のご案内



平成28年度より地域5か所に出向き研修や進路相談に向けてコンサルティングを行っています。今年度は、研修の前半はアセスメント能力を高めるために「高齢者に特化したフィジカルアセスメント」、そして後半は進学への道を考える機会とするため「看護師2年課程」について講義をしていただき、その後准看護師から看護師になった方にいろいろお話を聞く懇親会を予定しております。日時・場所は下記のとおりです。

特に仙台会場では、宮城県内の2年課程の養成所のブースを設け、教員等から学校紹介をしていただく予定です。同じ2年課程でも各学校の特色があり勉強になると思います。是非参加してみませんか。詳細についてはホームページを参照してください。

日程	曜日	時間	会場	申込締切
12月7日	土	13:30～17:00	南三陸ポータルセンター	11月1日
12月21日	土	13:30～17:00	宮城県看護協会会館・看護研修センター	11月1日
1月9日	木	13:30～17:00	柴田・角田地域訪問看護ステーション	12月1日
1月11日	土	13:30～17:00	石巻市水産総合振興センター	12月1日
1月30日	木	13:30～17:00	大崎訪問看護ステーション	1月1日

退院支援ができる看護師育成研修のご案内

宮城県看護協会では、地域包括ケア時代に対応できるよう医療機関の看護職を対象として、退院支援を進める看護職の育成研修を1月に開始いたします。約1週間の研修です。

目的

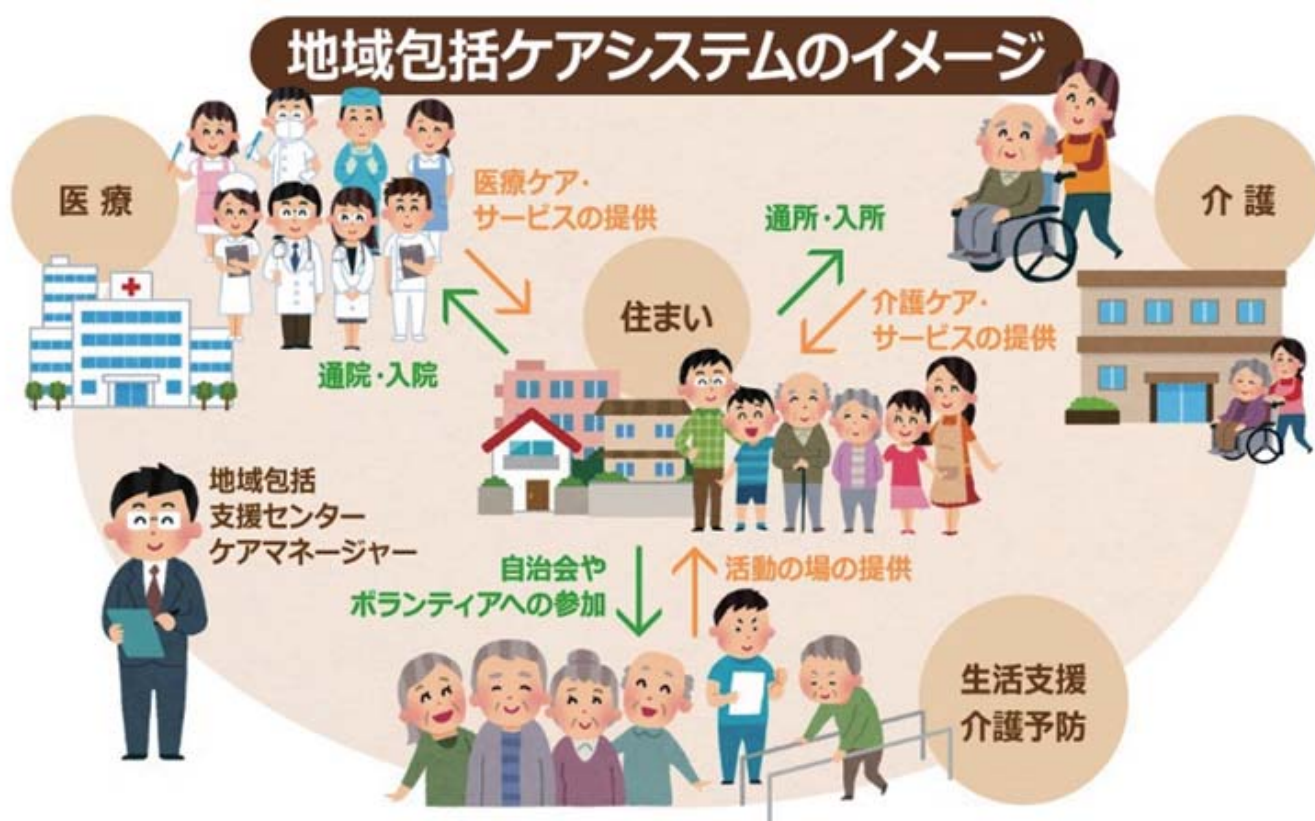
患者の個別性を考慮した生活支援を行う看護の視点を養うと共に、患者の在宅移行支援が提供できる能力を養う。

目標

- ① 患者のセルフケア能力と自己管理能力の維持・促進を支援することを理解し、患者・家族が必要としている退院支援の方向を導き出し、入院時から退院後の生活を視野に入れた有効な退院計画ができる。
- ② 病院全体で取り組む退院支援の実践が理解できる。
- ③ 退院支援の評価方法が理解できる。

高齢化社会の現代、「時々入院、ほぼ在宅」と言われております。

その人らしい生活を支援する看護師の役割はさらに重要です。患者さんが病院から在宅に復帰しても困らないように、円滑に退院支援を進めるための研修を是非受けてみませんか。11月に開催案内を発送及びホームページに掲載しますので日時等についてはそちらでご確認ください。参加をお待ちしております。



働くみんなの医療安全 「高齢者や認知症患者の誤飲・管理に気をつけよう！」

今号と次号では、「高齢者や認知症患者の誤飲に気をつけよう！」をテーマに皆さんにお伝えしていきます。高齢者の誤飲のなかでは、義歯や、食物の誤飲が多く報告されています。今号は、義歯の誤飲について2つの事例から早期発見のポイントを考えてみましょう。

事例 1

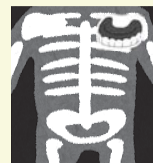
入院中の認知症の患者の家族から、患者が激しくむせたので、入れ歯（下顎の総義歯）を飲み込んだのではないかと看護師に訴えがあった。しかし、看護師は入れ歯ケースに入っていると思い込み、家族へその旨を話し、ケースの中身を確認せず、まさか総義歯を飲み込むなんてと思い、痰吸引を行なったが、少量の痰しか引けなかった。その後、肺雑音、喘鳴がひどくなり、呼吸困難を訴え、諸検査の結果、心不全増強と診断され、他科へ転棟することになった。その際、入れ歯ケースに上顎の総義歯しか入っていないことが判明。

一週間前のエックス線写真を確認したところ、咽頭下部（喉頭蓋の奥の食道入口付近）に下顎の総義歯らしい影が写っていた。



事例 2

老人ホームに入所中の女性、夜間、発熱の症状があり、家族に付き添われ医療機関受診した。胸部エックス線検査後、発熱の治療として点滴を実施し、その日のうちに帰された。しかし、老人ホームの職員が、女性の義歯がなくなっていることに気づき翌日、家族を通して、医療機関に連絡後救急搬送され診察の結果、手術で胃から義歯を取り出した。夜間受診した際のエックス線画像には、食道部分に義歯らしい影が写っていた。



義歯誤飲発見ポイント！



* 認知症の患者さんに対応する際は、通常では考えられないことも起きうると考えたほうがよい。

- 義歯紛失時、探しても見つからない時には、早めに医師へ報告し、エックス線写真にて確認する。
- 患者さんが、急に咳き込みが多くなった、流涎が多くなった、呼吸状態が悪化した時には、口腔内をチェックする。
- 義歯装着時の不具合、義歯の形態や破損の有無を確認する。
- 普段から、患者さんの歯の状況と義歯の保管管理を多職種で情報共有を行うことが発見の早道になる。

（総入れ歯だからと安心はできません!! 日頃から確認しておきましょう。）

義歯紛失時には、「まさか!?’ではなく、「誤飲したかも!」と疑うことが大切です。

参考文献：患者安全推進ジャーナル2019 NO.55

会員のページ

わたしのとおきリフレッシュ方法

坂総合病院 看護師 ペンネーム フフフボーンさん

私のリフレッシュ方法は、フラワーアレンジメントです。

見切り品の切り花を購入して、ネットで、こんな感じに仕上げたい! とイメージし、上手く出来た時は、自画自賛し、自分を褒め称えています。やはり、上手く出来た時は、自分の作品を見ているだけでも、癒されています。仕事のストレスも吹っ飛んでしまいます。

最近は、仕事など忙しく、アレンジメント出来ていませんが、時間を見つけてやりたいと思っています。



賃金体系モデルってどんなこと？ 一緒に考えてみませんか!!

働き続けられるための勤務環境改善研修会



テーマ これからの看護職の賃金体系モデルを考える（複線型人事制度と等級制度）
～多様な働き方とやりがいを支えるために～

日時 12月7日（土）13：00～15：30 会場：みやぎ県南中核病院
12月14日（土）13：00～15：30 会場：大崎市民病院

講師 一般財団法人 三友堂病院 理事 田林 義則 氏

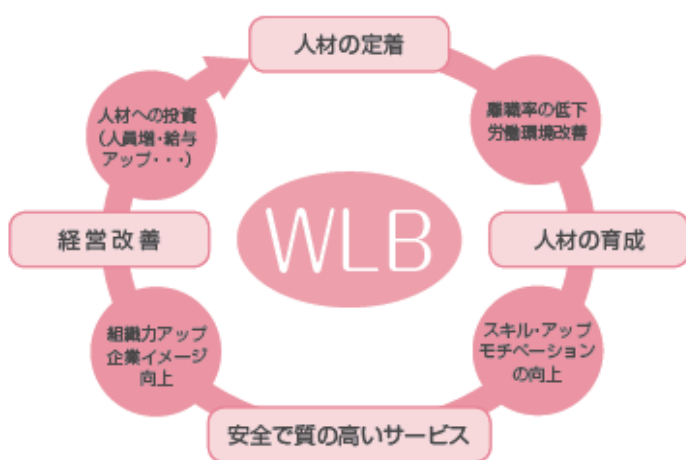
昨年も県内2カ所で開催し、43施設97名の参加で、意見交換では「各職場での厳しい現状が分かり情報交換ができた」という声が聞かれました。

予告

詳細は看護みやぎ2月号で！

2020年WLB推進ワークショップ参加施設募集

宮城県看護協会は、看護職を含めた医療施設の働き方改革を支援するため、WLBを推進しています。



2020
オリンピックイヤーに
病院みんなでWLBへ
ジャンプ！



病院の現状に見合った取り組みができます。

まずは、全体（医療職・事務職）の意識調査（インデックス調査）から！

今年は県からの補助金もあり、参加しやすくなりました。

今年は7つの病院が、院内の働き方改革（WLB）に取り組み、看護協会も取組を支援しています。

- 富谷中央病院（初参加）
- 大泉記念病院
- JCHO仙台病院
- 公立黒川病院
- 坂総合病院
- 永仁会病院
- 仙台赤十字病院

問い合わせ

宮城県看護協会
ナースセンター

電話 022-272-8573

県内の成功事例が
たくさん見られます。



ナースセンターでは、宮城県看護協会が宮城県より指定を受け、看護職員の定着・確保に関する事業を行っています。主として未就業者の就労促進（ナースバンク）、復職支援、離職防止対策、看護の心普及啓発等の事業を行っています。

ハローワーク移動相談を定期的におこなっています。

●11月・12月・1月の実施予定

（仙台のみ要予約）

11月	仙 台／11日（月）	大河原／26日（火）	13：00～
	古 川／8日（金）		13：30～
12月	仙 台／9日（月）	塩 釜／3日（火）	13：00～
	石 巻／20日（金）		
令和2年1月	仙 台／6日（月）	大河原／28日（火）	13：00～
	古 川／10日（金）		13：30～

在宅看護に関する研修

❀「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会が始まりました

受講生：17名

開講式：令和元年9月27日 13：00～

赤間常任理事挨拶

これからの地域包括ケアには訪問看護がより重要な役割を果たすことが期待されています。ぜひ質の高い訪問看護をめざして頑張ってください。



※「訪問看護eラーニング」を活用し自宅等で学べます。

実習があり受講者の自宅近くや、自施設での一部実習も可能です。修了者には、日本訪問看護財団より修了証書が交付されます。今年度の募集は終了いたしましたが、来年度も開催予定ですので、興味のある方は看護協会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ

宮城県看護協会ナースセンター

■仙台市青葉区柏木2丁目3-23（訪問看護総合センター内1F）

■相談時間 平日9：00～18：00 土曜日10：00～15：00（年末年始・祝日は除く）

■電話（022）272-8573 ■FAX（022）272-7801

令和2年度 看護協会継続手続きについて

今年度看護協会に入会されている方については、次年度以降の看護協会へのご加入は自動更新となります。詳細は日本看護協会より送付されます継続のご案内をご確認下さい。

尚、今後登録継続を希望されない場合には、所定の退会手続きがございますので、宮城県看護協会までお問い合わせ下さい。

また、登録内容について変更のある場合には、継続のご案内に同封されております変更届にてお手続きをいただくか、キャリアナース（URL：<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>）より変更申請をお願いいたします。

変更届送付先

〒206-8790

日本郵便株式会社 多摩郵便局私書箱第21号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会
会員登録事務局 宛

会員専用ページ

 **キャリアナース**



入会特典のご案内

宮城県看護協会では、入会された方にご利用いただける各種入会特典をご用意しています。皆様ぜひご利用下さい。



【看護に関する情報の提供等】

- 協会ニュース・看護みやぎ・その他看護に関する情報のお届け
- 看護協会主催の各種研修会への会員価格での参加
- 最新看護索引 web の利用・看護関係図書の貸出

【各種保険への加入】

- 日本看護協会の看護職賠償責任保険制度への加入。
- 宮城県看護協会の看護職団体傷害保険（針刺し事故等による感染症危険補償特約付帯）制度への加入
- アフラックのがん保険への割安な集団料率での加入

【提携宿泊施設・アミューズメント施設等の会員特別割引料金】

- 提携ホテルの宿泊料金割引
- すみかわスノーパーク リフト利用料金・樹氷鑑賞ツアー料金等の割引
- 秋保リゾート森林スポーツ公園 施設利用料割引
- レオパレス 21 契約手数料割引

詳細は宮城県看護協会ホームページをご覧ください。

2019年度会員総括表

2019/10/1現在

支部名	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
	会 員	新会員	会 員	新会員	会 員	新会員	会 員	新会員	会 員	新会員
仙 南	29 (1)	0 (0)	33	0	586 (41)	23 (2)	24 (2)	5 (1)	672 (44)	28 (3)
岩 沼	16 (0)	0 (0)	52	0	766 (75)	25 (5)	12 (0)	1 (0)	846 (75)	26 (5)
塩 釜	9 (0)	0 (0)	28	2	366 (21)	10 (0)	12 (0)	2 (0)	415 (21)	14 (0)
大 崎	50 (0)	1 (0)	31	3	916 (46)	31 (3)	70 (1)	1 (0)	1,067 (47)	36 (3)
栗 原	22 (0)	0 (0)	7	0	353 (13)	6 (2)	7 (0)	0 (0)	389 (13)	6 (2)
登 米	14 (0)	0 (0)	4	0	208 (13)	5 (2)	5 (0)	0 (0)	231 (13)	5 (2)
石 巻	16 (0)	1 (0)	41	3	1,078 (90)	50 (10)	95 (6)	4 (1)	1,230 (96)	58 (11)
気 仙 沼	20 (0)	0 (0)	10	0	178 (12)	6 (1)	7 (1)	0 (0)	215 (13)	6 (1)
仙台・黒川	40 (3)	0 (0)	85	2	1,707 (112)	114 (10)	73 (3)	7 (0)	1,905 (118)	123 (10)
仙 台 北	50 (3)	2 (1)	153	10	2,291 (215)	149 (15)	26 (4)	3 (0)	2,520 (222)	164 (16)
仙 台 南	26 (1)	2 (1)	130	7	1,719 (90)	79 (7)	45 (0)	3 (0)	1,920 (91)	91 (8)
仙 台 東	7 (0)	0 (0)	62	2	1,052 (68)	68 (8)	17 (1)	4 (1)	1,138 (69)	74 (9)
県 外	1 (0)	0 (0)	0	0	10 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	1 (0)
合 計	300 (8)	6 (2)	636	29	11,230 (796)	567 (65)	393 (18)	30 (3)	12,559 (822)	632 (70)

() は男子再掲

看護師学校養成所2年課程（通信制）進学者に対する奨学金のご案内

日本看護協会では准看護師の方の進学支援に取り組んでおり、その一環として看護師学校養成所2年課程（通信制）進学者に対する奨学金事業を実施しています。

- 【対 象】2年課程通信制に在籍する准看護師（入学許可も含む）
- 【貸与金額】年額48万円または36万円（任意選択）
- 【貸与期間】在学中の1年間または2年間
- 【応募条件】日本看護協会の会員であること（新規入会しての応募可）
看護師学校養成所（2年課程通信制）に在籍していること（2020年4月入学予定者を含む）
- 【受 付】第一期：2020年1月15日～2月28日（必着）、第二期：2020年3月2日～4月27日（必着）
- 【振込時期】第一期：2020年5月末頃、第二期：2020年7月末頃（予定）
- 【返還条件】無利息（貸与終了の翌年10月から最長4年以内に返還）

申込方法等詳細は、日本看護協会ホームページ

(<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/scholarship/ninenkatei/oubo.html>) をご覧ください。



会員特典

宮城県看護協会

「看護職団体傷害保険制度」のご加入がおすすめです！

詳細は本紙に挟み込まれたチラシをご確認ください。

看護職のみなさんの業務中と日常生活を守ります。
日本看護協会「看護職賠償責任保険」と合わせると安心です。

会員の皆様の福利厚生を目的とした当協会独自の制度である「看護職団体傷害保険制度」は以下のようなメリットがあります。

- ①血液曝露（針刺し）事故等による感染症（HBV・HCV・HIV）の大きな補償
- ②天災を含む国内外のケガを補償
- ③ご家族もご加入可能
- ④団体割引10%が適用
- ⑤被害事故等による弁護士費用（オプション）

お手続きが
WEBで完結
できます。

ご自身（ご家族）のおケガ		第三者に対する賠償	
業務中	血液曝露等傷害保険	日本看護協会 看護職賠償責任保険	血液曝露（針刺し）事故等 による感染症危険補償特約
	看護職団体傷害保険 宮城県看護協会		
日常生活		個人賠償責任補償特約	

編集後記

この夏～秋にかけては大型台風が多く発生しました。10月13日の台風19号では、全国各地をはじめ、宮城県内各地でも大きな被害に見舞われました。今回の災害で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。（広報委員一同）

看護みやぎ 第147号 令和元年11月1日発行 公益社団法人 宮城県看護協会 発行責任者 石井 幹子
〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10番19号 TEL.022-273-3923 FAX.022-276-4724
ホームページアドレス <http://www.miyagi-kango.or.jp/>